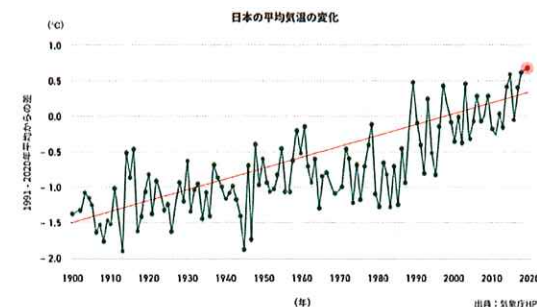




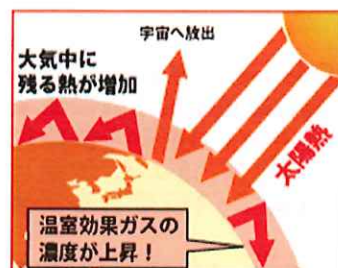
1

世界の平均気温は2017年時点で、工業化以前（1850～1900年）と比べ、既に約1°C上昇したことが示されています。このままの状況が続けば、更なる気温上昇が予測されています。



2

気温上昇はなぜ起きるのか



- 温室効果ガスが増え過ぎると、宇宙に逃げるはずの熱が放出されず、地表にたまりすぎてしまいます。そのため、気温が上昇したり、地球全体の気候が変化したりします。

3

温室効果ガス (GHG)とは

二酸化炭素 (CO₂)
 メタン (CH₄)
 亜酸化窒素 (N₂O、一酸化二窒素、笑気ガス)
 ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)
 パーフルオロカーボン類 (PFCs)
 六フッ化硫黄 (SF₆)

の6種類

4

脱炭素社会(カーボンニュートラル)とは

脱炭素社会とは、二酸化炭素の排出が実質ゼロとなる社会のことです。温室効果ガスである二酸化炭素は、地球温暖化の原因と考えられています。そのため、二酸化炭素の排出量を可能な限り減らし、脱炭素社会を実現することで地球環境を守るための社会作りが求められています。

5 2021年10月11日 14分 56秒

5

カーボンニュートラル

パリ協定

- 温室効果ガス（GHG：greenhouse gas）排出削減に関する2020年以降の国際的な枠組みです。
- 2015年にフランスのパリで開催されたCOP21（第21回 気候変動枠組条約締約国会議）で採択され、翌年2016年11月に発効しました。そして現在、180を超える批准国によって、本格的な取り組みが始まっています。地球温暖化対策として各国に、2050年までにCO2排出量の大幅削減やカーボンニュートラルの実現を求めています。
- 日本は2030年度に2013年度比26%減、2050年度までに80%減が求められている。

6 2021年10月11日 14分 56秒

6

日本での対応

- 2020年10月26日、第203回臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。
- 2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向け挑戦し続けている。

7 2021年10月11日 14分 56秒

7

三重県

- みえ環境フェア2019（2019年12月15日）において脱炭素社会の実現に向け、県が率先して取り組む決意として鈴木知事が「脱炭素宣言」を宣言しました。
- 三重県環境生活部地球温暖化対策課で2012年3月に「三重県地球温暖化対策実行計画」を策定。
- 2021年3月にこの「三重県地球温暖化対策実行計画」を改定する形で「三重県地球温暖化対策総合計画」が策定されました。これは地球温暖化対策法で策定が義務付けられた地方公共団体実行計画として位置づけ、気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画としても位置付けている。

8 2021年10月11日 14分 56秒

8

脱炭素とSDG s の関連



- ・2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する
- ・2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。



- ・2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良やさんぎゅお改善により、持続可能性を向上させる。

脱炭素とSDG s の関連



- ・2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
- ・2030年までに合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じて化学物質やすべての廃棄物の環境に配慮した管理を達成し、大気、水、土壌への排出を大幅に削減することにより、ヒトの健康や環境への悪影響を最小限にとどめる。



- ・気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
- ・気候変動の緩和、適応、影響軽減、および早期警告に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善する。

